

介助犬・聴導犬の育成事業への支援について

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、介助犬・聴導犬の育成事業への支援を行うこととし、本年7月28日、社会福祉法人アジアワーキングドッグサポート協会に対して、200万円を寄贈しました。

この寄贈に伴って、同法人アジアワーキングドッグサポート協会野地義行理事長から神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会に感謝状が贈られました。

寄贈式の状況は、次のとおりです。

1. 実施日	平成22年7月28日(水)
2. 場所	神奈川県遊技場協同組合会館
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 寄贈先	社会福祉法人 アジアワーキングドッグサポート協会
5. 贈呈物品	介助犬・聴導犬の育成事業への助成金 200万円

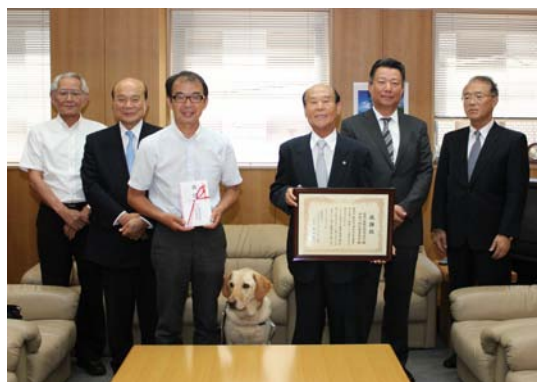
6. 概要

県遊協と協会は、介助犬や聴導犬の育成事業への理解を深めておりますが、1頭でも多くの介助犬等を体に障害を持つ方々や、聴覚の不自由なユーザーの下に提供して頂きたいとの思いからこの度の寄贈となったものです。

贈呈式において、関根会長からアジアワーキングドッグサポート協会野地義行理事長に目録を手渡し、「体に障害を持つ多くの方々が補助犬を必要としているとのことですが、こうした特殊な補助犬を育成するということは大変なことと思います。こうした育成事業に対して、少しでもお手伝いできれば何よりです」とあいさつしました。

これに対し、野地理事長からは感謝状を贈呈していただくとともに「全国で盲導犬は、1,000頭以上が活躍しているが、介助犬は50頭程度、聴導犬に至っては歴史も浅いこともあって僅か20頭程度です。この度のご支援は誠にありがたく、これからも介助犬・聴導犬の育成に励みたい」と感謝の言葉を述べられました。

この贈呈式の模様は、神奈川新聞、毎日新聞でも紹介されました。



神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会